

柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案からの主な変更点等について

1 主な変更点について

頁	種別	変 更 内 容
2 22 23 26	修正	基本目標のひとつである「子どもを <u>生み</u> 育てやすいまちをつくる」について、やさしいイメージとするために、「子どもを <u>産み</u> 育てやすいまちをつくる」に修正する。 (市議会総務常任委員協議会の意見による)
5	追加	「第1節 計画の趣旨」の内容について、特に雇用における地域課題等を強調するため、以下のとおり追加・修正を行った。 【追加内容】 全国的な少子高齢化・人口減少の流れの中で、これらの課題に対応するための戦略づくりが求められています。本市における現在の人口動向や将来の人口推計結果を見ると、まちの将来を担う若い世代、特に女性の市外への流出が顕著に見られます。今後も人口減少や少子高齢化が進行すると、 <u>将来的に市民サービスや地域経済への影響、さらには</u> まちの活力や都市機能の低下を引き起こすことが懸念されます。 <u>また、市内ではハローワーク管内の有効求人倍率が6年ぶりに1倍を超え、一部に明るい兆しが見えてきているものの、業種によっては、雇用のミスマッチなどによる人手不足が生じ、事業継続に不安を抱えています。</u> (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による)
16	修正	「第2節 人口が及ぼす影響」「3 市財政状況への影響」を以下のとおり修正を行った。 【修正内容】 人口減少は <u>家屋の減少による固定資産税の減収</u> や地価の下落を招くこととなり、特に中心市街地の衰退とそれに伴う地価下落は市税収入に大きく影響するため、市街地の衰退とともに財政力の低下が更に進むものと考えられます。 (柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略庁内策定委員会の意見による)
17 ・ 修正	追加 ・ 修正	「第3章 将来の人口展望」「第1節目指すべき将来の方向」について、若い世代が柏崎市を選択し、住み続けることを促す表現とするため、追加・修正を行った。 【追加・修正内容】 視点①「若い世代の <u>人口流出の抑制</u> 」を「若い世代に <u>選ばれる社会環境の整備</u> 」に修正するとともに、内容を以下のとおり修正を行った。 進学や就職に伴い、若い世代が市外へと流出していることが人口減少の最大の要因となっています。 <u>若い世代が自ら選択し、柏崎で学び、働き、生活を送れるよう</u> 、社会環境を整えます。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による)
18	追加	【推計条件】 に合計特殊出生率の推計表を追加した。 (市議会総務常任委員協議会の意見による)
22	追加	「第2章 総合戦略の目標」の内容について、幅広い世代の市民と地方創生の実現に向けていくため、以下のとおり追加を行った。

		【追加内容】 人口減少や少子高齢化、厳しい財政環境が続く中で地方創生を実現するには、自分の住むまちに誇りと愛着を持ち、市の将来を担う若い世代が、暮らし続けたいと思える魅力を持った「あたたかいまち柏崎」を、<u>子どもから高齢者までの</u>全ての市民が力を合わせて創っていくことが重要です。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による)
24 ～ 31	追加 ・ 修正	「第4章 目標別の総合戦略」について、最重要業績指標（K P I）の指標を増やすとともに、若い世代に主眼を置いた指標を多く設定した。 さらに、主な事業についても、本市の特色や独自性を強調した事業名に修正を行った。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による) (市議会総務常任委員協議会の意見による)
24	追加	「●若者の雇用の促進」の内容について、女性の雇用対策の観点を強めるため、以下のとおり修正を行った。 さらに、主な事業や重要業績指標（K P I）についても、女性の雇用対策に対応するため、追加や修正を行った。 【追加内容】 若者、<u>特に</u>女性の雇用創出に向けた就労支援の充実を図るとともに、雇用関連の公共職業訓練の拡充や雇用のミスマッチの解消に努め、新規高卒者、大卒者などの地元定着を促進します。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による)
26	追加	「●子育てサービスの推進」の内容について、子育て世代以外の市民との連携等を進めるため、以下のとおり追加を行った。 【追加内容】 安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援の充実や子育てに係る負担軽減、さらには医療に係る支援など、多様な子育てサービスの提供を充実します。 また、<u>シニア世代をはじめ、子育てに関し豊富な知恵や経験を持つ市民との</u>連携、協力を得ながら、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりを進めます。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による)
26	修正	「●ワークライフバランスの促進」及び内容について、国・県等と表現を統一するため、「ワーク・<u>ライフ</u>・<u>バランス</u>」の表記に統一することとしたい。 (柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略庁内策定委員会の意見による)
28	追加	「●若者リーダーの育成」の内容について、市内二大学との連携をさらに強化するため、以下のとおり追加を行った。 【追加内容】 若者が夢を持ち、将来の展望を切り開いていけるよう、産学官の連携によるキャリア教育や柏崎リーダー塾事業、柏崎・社長のたまご塾事業など、未来の柏崎に必要な人材の確保・育成を積極的に進めます。 <u>また、市内二大学との連携を強化し、人材育成や地域課題の調査研究、地域貢献に関</u>

		<u>する取組を進めます。</u> (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による)
30	追加	「●シティセールスの推進」について、特に観光分野の魅力について具体的な表現を追加するとともに、本市の魅力を広い視野にたって発信するよう表現を追加した。 【追加内容】 人やもの、企業、資金、情報などを引き付け、地域産業の活性化、定住促進、交流人口の増加、企業誘致などを図るシティセールス事業を更に推進し、市民を始め多様な組織・団体が<u>海や花火をはじめとする本市の</u>魅力を磨き、創出しながら、広域的な視点を持って市内外は<u>もとより世界に向けて</u>発信していきます。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による) (市議会総務常任委員協議会の意見による)
32 ～ 33	追加	「第5章 重点プロジェクト」について、具体的な取組を追加した。 (第4回柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の意見による) (市議会総務常任委員協議会の意見による)

2 パブリックコメント（10/5～10/30 まで）の状況について

- (1) 意見の状況 1件（10月19日現在）
- (2) 意見要旨

柏崎市は、合併を続けてもなかなか元気さがみられないが、今回の総合戦略に掲げる4つの基本目標は、今後の柏崎に大きな方向を示していくものと期待している。今後、5年間の計画ではあるが、早急に取り組を進めることが重要であり、広く市民の意見を求めながら、これを一過性にせず、将来の柏崎をぜひ目指していただきたい。